

【指導と評価の計画】

時間	☆本時のねらい ○学習活動 [評価方法] ○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価	評価の観点		
		知	思	態
1	☆単元目標を理解する。 ☆未来課題について理解する。 ☆バリアフリーについて考え、関連表現を理解する。 ○「フォトランゲージ活動」①:「ノーマライゼーション社会」「大使館」のイメージ、役割、日本と各国のつながりを理解しながら世界から沖縄へ焦点を変え、自分事として捉える。○Discussion in groups: 自分たちが今生きている環境や社会について話し合い、本単元の「未来課題」について共通理解を図る。 ○Section 1 (p.86-87) 新出語彙の理解と習得、チャンク/パラグラフ理解(ペア/全体) ○Section 1 Summary			
2	☆自分なりの「誰もが暮らしやすい社会」をイメージする。 ☆新出文法(現在分詞形容詞的用法)を理解する。 ○Warm-up Listening ○Reading in pairs / Q & A (p.86)(ペア→全体)○Retelling Activity in pairs ○Writing and Interacting in pairs(p.87):現在分詞を活用しながら自分の考えを書く。			
3	☆イタリアの人々の行動について理解する。☆新出文法(過去分詞形容詞的用法)を理解する。 ○フォトランゲージ活動②: 世界遺産も多くあるイタリア、「観光における良い面」vs. 「不便さ」に気付き、沖縄にも関連している面を理解する。(写真を見て気付いたことや感想を、全体で確認/グループで、沖縄との類似点や相違点について意見交換) ○Section2 (p.88-89) 新出語彙の理解と習得、チャンク/パラグラフ理解(ペア→全体) ○Section 2 Summary			
4 本時	☆多様な人々と共存する重要性について考える。 ☆新出文法(過去分詞形容詞的用法)を理解表現する。 ○Warm-up Listening ○Reading in pairs / Q & A (p.88) (ペア→全体) ○Retelling Activity in pairs ○Writing and Interacting in pairs(p.89): 過去分詞を活用しながら、自分の考えを書く。「自分自身、又は家族の誰かがこれまでに誰かを助けたこと(経験)」をペアで伝え合う。	○	○	○
5	☆異なる国の人々の行動について理解を深める。 ☆分詞構文の意味や用法を理解する。○フォトランゲージ活動③: ギリシャの人々の行動から見える、沖縄の人々との「共通点」を考える。「住みやすさ」vs. 「住みにくさ」、「自分ならどう対応するか」の意見交換 ○Section 3 (p.90-91) 新出語彙の理解と習得、チャンク/パラグラフ理解(ペア→全体) ○Section 3 Summary			
6	☆手を差し伸べる側と求める側の気持ちや行動について考える。 ☆分詞構文の意味や用法を理解し、表現する。 ○Warm-up Listening ○Reading in pairs / Q & A (p.90)(ペア→全体) ○Retelling Activity in pairs ○Writing and Interacting in pairs(p.91): 分詞構文を活用しながら、自分の考えを書く: 「自分自身、又は家族の誰かがこれまでに誰かに助けられたこと(経験)」をペアで伝え合う。			
7	☆様々な国を比較し、暮らしやすい環境や社会について自分事として考える。 ☆It is …that 構文の意味と用法を理解する。 ○ランキング活動 in group: ハワイ、イタリア、ギリシャ、それぞれの国の人々の行動を基に、どの国が最も住みやすいのか、それが「観光」とどう関連しているのかを考え、議論する。沖縄の人々との「共通点」を考え、沖縄にも関連するであろう面を意識させる。また未来課題に向けた情報の整理を行う。 ○Section 4 (p.92-93) 新出語彙の理解と習得、チャンク/パラグラフ理解(ペア→全体) ○Section 4 Summary			
8	☆全ての人に対応する「ノーマライゼーション」の持つ意味を考え理解する。 ☆It is …that 構文の意味と用法を理解表現する。 ○Warm-up Listening ○Reading in pairs / Q & A (p.92)(ペア→全体) ○Retelling Activity in pairs ○Writing and Interacting in pairs(p.93): It is …that 構文を活用しながら、世界の人々の行動と自分の行動を比較しながら、これからの自分の行動や役割について英文を書き、ペアで意見交換する。			
9	☆一人ひとりが暮らしやすい環境や社会づくりについて、沖縄県 ver.を考える。 ☆未来課題に向けて企画書作成、実践準備 ○Small Talk in different pairs ○Writing Documents and Making Materials: 一人一台端末によるスライド制作及び原稿作成(単元を貫く問い、未来課題の目的や役割等の設定内容を再確認する。)			
10	☆「未来課題」話すこと(発表): 情報を整理し自分の考えを具体的に伝え、視覚教材を活用しながら聞き手が理解しやすいよう表現する。○A L T/教師のもとへ行き、テストを受ける。 ○残りの生徒はまとめ問題等を行う。○振り返りシートに記入	◎	◎	◎

一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。

一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。

